

2022年度(令和4年度)新体力テストの結果

児童質問紙 (第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	64.10	25.64	7.69	2.56
女子	62.50	31.25	6.25	0.00

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	66.67	28.21	5.13	0.00
女子	65.63	34.38	0.00	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか

	週に3日以上	週に1~2日 くらい	月に1~3日 くらい	しない
男子	41.03	38.46	12.82	7.69
女子	21.88	56.25	15.63	6.25

体力・運動能力 (第5学)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.85	19.78	28.59	39.24	46.41	9.37	148.49	20.00	50.43	女子	17.06	19.31	32.91	37.63	44.66	9.21	151.87	15.06	56.38

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未満

重点課題および要因

情意面

・アンケート調査項目の「運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)」において、週に3日以上すると回答した児童は、男子が全体の約4割、女子が約2割となった。運動は好きだが、運動をする機会が少ないためだと考えられる。

体力面

・男女共に、柔軟性に関わる項目(長座体前屈)と敏しょう性に関わる項目(反復横とび)が県平均・全体平均を下回っている。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・授業の始めに、「ジャンケン開脚」や「まげまげピン」、「ボール回し」などの柔軟性を高める運動や「変形ダッシュ」や「ねことねずみ」、「サークル鬼ごっこ」などの敏しょう性を高める運動を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

・朝の会で、下肢のかたさを改善するストレッチを行い、柔軟性を高める。  
・体育委員会が中心となって、「スポーツウィーク」を設定し、業間休みに全員が外遊びやなわとびの練習に取り組めるようにする。

2023年度(R5年度)の重点目標値

・男女共に、長座体前屈と反復横跳びが県平均値と全国平均値を上回るようにする。